

令和6年度事業報告

我が国では、近年、気候変動の影響とされる記録的な台風や想定を超える降雨が頻発し、これまで経験しなかった河川の氾濫や浸水による深刻な被害が繰り返し発生している。

河川ポンプ等の内水排除施設は人々の生命、財産を浸水被害から守る河川管理施設として重要な役割を担っているが、近年、老朽施設が急増し、厳しい財政状況下にあっても適切な維持管理・更新の実施が求められている。さらに、被災地域等では新設を求めるニーズも増加している。一方、内水排除事業を担う施設管理者や関係民間企業においては熟練技術者不足、高齢化、人材確保難が深刻化し、事業体制の弱体化が懸念されている。

国土交通省では、これら河川機械設備の諸課題について社会資本整備審議会において審議され、システム全体の信頼性の確保、遠隔化・自動化・集中管理への移行、技術力の維持向上へ向けての設備のあり方が示されている。また、これらに対応する新たな技術開発の取組みも進められている。

一方、河川ポンプ施設の建設・維持管理などの事業活動全般において、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進による合理的、効率的な事業体制構築が求められている。

令和6年度事業では、これらの状況に対して、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や施設老朽化対策等の課題への取組み、河川ポンプ分野のDX推進に向けた取組みなど、技術の向上、人材育成及び現場・関係者の支援に向けた活動を進め、国内のポンプ施設の合理的な建設・維持管理の実現に貢献することを目指した。具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を考慮しつつ、河川ポンプ施設技術の調査研究及び普及、河川ポンプ施設に関する技術者の養成、河川施設に関する広報活動等を柱として、以下のとおり事業を実施した。

また、公益目的支出計画に基づく事業は引き続き着実に実施し、令和6年度で公益目的支出計画が完了した。決算承認後、公益目的支出計画完了確認申請書を内閣府に提出する予定としている。

1. 総会・理事会

1. 1 令和6年度定時総会

令和6年5月28日 令和6年度の定時総会を開催し、次の議案について審議し承認された。

議案	第1号議案	令和5年度事業報告の件
	第2号議案	令和5年度決算報告の件
	第3号議案	役員選任の件
	第4号議案	役員給与規程の改定の件
報告		公益目的支出計画実施報告書の報告

1. 2 理事会

令和6年5月13日 第1回理事会を開催し、次の議案について審議し承認された。

令和6年度定時総会議案について審議決定した。
令和6年度定時総会の招集方法について審議決定した。
令和6年度運営委員7名を選任した。

令和6年5月28日（定時総会后） 第2回理事会を開催し、役員選任について審議し決定された。

令和6年12月11日 第3回理事会を開催し、次の議案について審議し承認された。

令和6年度上半期事業及び予算執行について審議した。
令和7年度事業計画及び予算について審議決定した。
定款及び入会金及び会費規程の改定案について審議した。
ポンプ施設管理技術者資格試験規則の改定について審議決定した。
令和7年度委員会の設置について審議決定した。
令和7年度定時総会の日程について決定した。

2. 運営委員会

（1）理事会に提出する議案の企画・立案

協会運営の基本的事項として、公益目的支出計画完了後の経営見直しにかかる審議を行い、令和6年度の理事会に提出する案件の企画・立案を行った。

（2）ポンプ施設管理技術者の資格制度の改善等の審議

ポンプ施設管理技術者の資格制度の見直し及び活用に関する取り組みに関する検討を行った。

（3）国際交流の推進に関する審議

国際交流（海外調査）の取り組みの見直しに関する検討を行った。

（4）その他協会運営に関する審議

① 災害への対応

東北、関東、北陸、中部、近畿、中国の各地方整備局及び北海道開発局と災害協定を締結しており、協定に基づき各地区の関係会員による実施体制を提出した。

令和7年1月に発生した埼玉県八潮市道路陥没事故について、関東地方整備局及び埼玉県からの復旧に向けた協力依頼に対応した。

② 意見交換会等の実施

ポンプ施設に関して、市場の安定的な確保や維持管理対応等の課題について国土交通省との意見交換を行った。

令和6年12月 9日 近畿地方整備局

令和6年12月19日 国土交通省本省

令和6年12月19日 中部地方整備局

令和6年 1月27日 東北地方整備局

令和7年 2月 5日 関東地方整備局

令和7年 2月19日 九州地方整備局

3. 委員会

3. 1 広報研修委員会

(1) 機関誌「ぼんぷ」の発行

公益活動の一環として、機関誌「ぼんぷ」の第72号を9月に、第73号を3月にそれぞれ2,000部を発行し、国土交通省、地方公共団体、関係法人、会員等に配布した。

第72号では、情報処理技術を活用した機械設備に関する情報可視化の取り組み、既開発・導入技術のフォローアップ調査に関する報文、排水能力を増強した高橋排水機場の紹介、3Dモデルを活用したポンプ設備増設工事の報告等の記事を掲載した。

第73号では、ポンプ施設の安全管理に関する事例集作成についての報文、技術研究発表会における特別講演内容の紹介、施設運用の信頼性向上と機場のコンパクト化を図った大津川排水機場の紹介、ポンプ設備の無水化を図った更新事例等の記事を掲載した。

(2) ホームページの拡充

ホームページを活用し、行政機関や一般市民向けの河川ポンプ施設に関する広報の充実を図った。

(3) 技術図書の発行

「ポンプ施設の建設と管理」の改訂版を4月に発行した。

(4) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力

国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修へ講師を派遣した。

令和6年11月13日 国土交通大学校

令和6年12月 4日 国土交通大学校

令和6年12月 5日 国土交通大学校

令和7年 1月22日 東北地方整備局

(5) ポンプ施設技術講習会の実施

9月に札幌、東京、大阪、高松、福岡の全国5会場でポンプ施設技術講習会を実施した。

〔本講習会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

受講者数 88名

(6) 技術研修会等の実施

① 河川ポンプ技術研究発表会

揚排水機場等の河川ポンプ施設の技術向上と普及のため、関係技術者による技術の課題の紹介や開発成果発表を行う河川ポンプ技術研究発表会を開催し、会員等関係技術者と行政関係者等の方々にご参加いただいた。

技術研究発表会では、土木工事・業務において「BIM/CIM」が原則適用になったことに鑑み、外部講師による「BIM/CIMにおけるIFCを中心とした

国際標準化に関する現状と展望」の講演の後、機械設備の維持管理におけるB I M / C I Mの技術開発と活用事例、ポンプ設備の維持管理におけるD X化に関する発表をいただいた。

なお、実施概要を機関誌「ぼんぷ」73号に掲載した。

〔本研修会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

令和6年11月13日

参加者数 88名

② 技術講話会

河川ポンプ技術研究発表会と同時開催とし、外部講師による「浸水被害の低減に向けた地下空間活用のありかた」の講話をいただいた。

3. 2 技術開発委員会

(1) 新しい技術の開発・導入に関する検討

マスプロダクツポンプ検討WGを開催し、高出力タイプにおける実証試験計画や運用のあり方などについて意見交換を行った。さらに、全国6カ所に設置されている現場実証設備のうち3カ所について現場調査を行い、マスプロダクツ型排水ポンプ設備技術指針（素案）について検討した。

(2) 河川ポンプ分野のD X推進に資する調査、研究開発

国土交通省の「B I M / C I M推進委員会」「基準・要領改訂プロジェクトチーム」「C A D製図基準プロジェクトチーム」の審議内容を共有するとともに、「B I M / C I M取扱要領」および「C A D製図基準」策定時の意見照会に対応し、上申すべき意見をとりまとめた。

(3) 河川ポンプ施設に関するニーズに関する調査、課題解決に向けての検討

河川ポンプ施設の現場のニーズに関する調査を行うとともに、諸課題解決に向けての検討を行った。

3. 3 維持管理委員会

(1) 操作技術向上検討会等の実施

排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会を2回開催した。

令和6年10月30日 兵庫県管内

令和6年11月19日 九州地方整備局管内

(2) ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討

ポンプ施設の運転操作、点検・診断・修繕等にかかる安全管理の向上や人材育成、施設管理者の支援のために、安全管理に関する事例集を作成することとし、高所からの転落防止、回転部への巻き込まれ、感電等に関するリスクと対応策を整理し作成した。

なお、作成した事例集の概要を機関誌「ぼんぷ」第73号に掲載した。

(3) 河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討

「河川ポンプ施設総覧2025版」を編集し、刊行した。また、河川ポンプ分野のDXに向けてデータ管理の方策について検討する準備を行った。

4. ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

(1) 令和6年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施

令和6年10月27日(日)、札幌、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国6会場でポンプ施設管理技術者資格試験を実施した。

受験者数 190名(1級87名、2級103名)

合格者数 93名(1級41名、2級52名)

(2) 令和6年度ポンプ施設管理技術者講習の実施

講習資料として「ポンプ施設管理技術者講習テキスト2024」を作成した。

令和6年5月に札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の全国9会場でポンプ施設管理技術者講習を実施した。

〔本講習は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

受講者数 644名

(3) ポンプ施設管理技術者に関する広報

機関誌「ぽんぷ」およびホームページにおいて、ポンプ施設管理技術者制度の広報を行った。

(4) 試験審査関係委員会

① 試験委員会

令和6年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を行った。

② 審査委員会

令和6年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行った。

5. 受託業務

内水排除施設の建設技術、管理技術に関する調査研究及び開発、並びにその技術的基準の作成及び普及に関する業務について、国土交通省等から10件を受託し実施した。